

CONTENTS

- 会長挨拶
「原点に帰って未来を描く～コロナ禍を経て～」
会長 新田 耕司(摂大平成2年卒)
- 学科長挨拶
「収まらない新型コロナ感染拡大の猛威と
都市環境工学科のこの1年」
都市環境工学科 教授 福島 徹
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
(一級建築士受験資格)認定条件
- 総会案内
- 総会報告
- 準会員(学生)向け 建設業界の紹介を開催しました(OB企業講演会)
- 福島徹教授最終講義のご案内
- 役員・評議員名簿
- [摂南大学土木会] 令和2年度 決算書・令和3年度予算書(案)
- 研究室だより
- 教室だより
- 令和3年度就職状況
- 私の近況報告
- 卒業生特集
貢献する土木技術
- 井上治先生と橋本悌造先輩を偲ぶ
- 技術士会だより
- 準備室スタッフ紹介
- 寄付いただいた方
- 訃報
- 在学生特集
テーマ「今、頑張っていること」



新2号館



新体育練習場



原点に帰って未来を描くーコロナ禍を経てー

会長

新田 耕司（撰大平成2年卒）中央復建コンサルタンツ株式会社



先日、本会報執筆のために岡山県蒜山にある大島技術コンサルタント(株)を訪ねました。お蕎麦屋さんに行つたとき

の待ち時間で社長が「四つ葉のクローバーを探そう」と言われたので社長夫妻と私の3人で探しました。全員が一つは見つけ、社長は二つ見つけました。何十年ぶりのスマホも何もないあつという間の待ち時間でした。

新型コロナウイルス感染症のパンデミック宣言から一年半余りで我々には不要不急を今まで以上に意識するようになったように思います。組織に所属している方であっても、自分自身で物事の軽重を判断しながら時間を割り振って毎日を過ごしている方が以前に比べて増えているのではないのでしょうか。集団生活の中でセルフコントロールやセルフマネジメントができるようになったことは大きな成長です。

DX（デジタルトランスフォーメーション）を実行し、DXにより実効を上げるデジタル庁が今年9月に新たに設置されました。DXの目的は生産性の向上に他なりません、人類が自然と調和して生き続けるために何が重要

かを見極め、問題を把握し目標や課題を設定する活動が何より大切です。インフラの整備やメンテナンスにおいて、その施設がなぜ必要なのか、その施設の修繕をなぜ優先させるのか、どうすれば市民の安全安心が確保され満足感や豊かさが得られるのかを思索し、限られた財源の中で最適解に導くことは土木技術者にとつて当たり前のことです。最適解に限りなく近づけるように思考し、高い生産性が得られるように行動することは言わずもがなです。

忙しさのあまり、当たり前、言わずもがなの原点を忘れているように思われる場面にしばしば出くわします。四つ葉のクローバーを探しながら幸せの時間を過ごしていた私がいい例です。目の前の課題に忙殺されデジタルに翻弄されているのは最適解が得られないばかりか本来土木技術者に求められている国土の未来を描くことができません。個人、組織が今一度原点に立ち返り、物事を大所高所から見ることによって本質が見極められ、希望ある未来が描けるようになると思います。

撰土会が未来を描ける組織であり続けられますようより一層の皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

収まらない新型コロナウイルス感染拡大の猛威と

都市環境工学科のこの1年



撰南大学土木会会員の皆様には平素より都市環境工学科の教育・運営にご理解とご協力を賜

り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月に学科長を拝命してからのこの一年半の間、新型コロナウイルス感染症の拡大というパンデミックに大学は、いや日本中、世界中が振り回されました。皆様の職場におかれましても様々な影響を受けながらも、色々な工夫をされながら業務継続に取り組んでこられていることと推察いたします。昨年度の本会報誌での挨拶文にて大学における対応の状況は少し述べさせていただきましたが、その後につきまして簡単に報告させていただければと思います。

昨年度後期授業は、6月に学長より示されました「誰一人として置き去りにしない」「教育体制」後期授業の実施方針」」「講義科目は、原則「遠隔授業」、実験、実習、演習、ゼミ科目は、遠隔授業および対面授業のいずれも「実施可」にそつて、比較的混乱無く、また先生方も前期の経験を生かしてオンライン教材の作成や対面での授業の工夫をされてスタートを切りましたが、感染の拡がりがやや小康状態となってきたことを受けて11月には「感染の拡大防止対策下で『対面授業』を原則とする」との教育方針が出され、一部授業は遠隔授業から対面授業へと移行されました。入学後同級生

と顔を合わすことのほとんど無かった1年生にとっては、対面授業のメリットにとどまらずわずかではあれ同級生と話しの出来る貴重な場となったように感じています。こうして1年を終えることとなりましたが、残念なことに2020年度新入生66名のうち8名が進級不可となり1名は退学して専門学校へと進路変更いたしました。このことは、いきなり入学式やオリエンテーションなどの諸行事が中止やオンラインでの実施となったことに加えて自宅待機が続き、授業開始後も原則「遠隔授業」となるなど、日常の生活リズムや学習習慣をつけれなかったこと、学生と直接接しなかった教員のサポートが十分出来なかったことなども影響しているように感じています。

2021年度に入りましてもコロナ感染の波に呼応して対面授業とオンライン授業が行きつ戻りつして、後期授業も緊急事態宣言の発出を受けて「講義は原則オンライン形式」となったところです。撰土会の皆様のご協力で行わせていただいております講演会も昨年度同様にオンラインで、現場見学会は実施が難しい状況とお聞きしています。そうしたなか、9月には本学での職域接種が始まります。1日でも早いコロナ感染の終息を待ち望むばかりです。最後になりましたが、同窓会会員の皆様方の益々のご活躍を祈念しますと共に、今後とも都市環境工学科への変わらぬご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

都市環境工学科 教授 福島 徹

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件^{※1}

入学年(西暦)	入学年(平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する ^{※3} 。
2003	15		
2004	16		
2005	17		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{※3} 。
2006	18		
2007	19		
2008	20		平成21年度から開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{※3} 。
2009以降	21以降		認定されない。 ^{※4}

※1:一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。

※2:卒業後に対象科目の単位修得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課に問い合わせください。

※3:卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。ただし、他大学で科目を修得するにあたって、受講予定の授業内容と本学の「建築設計製図Ⅰ」の内容が一致しているかどうかについては、主管庁の国土交通省、建築技術教育普及センター、本学においても事前には一切回答いたしません。申請者が一級建築士の受験申請をする際に初めて国土交通省で審査されます。

※4:2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

令和2年度通常総会開催される

役員 小川 芳也

(摂大平成14年卒業、摂大修士平成16年修了、摂大博士平成24年修了)

令和2年度通常総会が令和2年11月28日(土)16時30分～17時、オンライン方式にて開催されました。

総会は、新田耕司会長(摂大平成2年卒)の挨拶に始まり、過年度の事業報告・決算報告および令和2年度事業計画・予算計画について審議され、それぞれ原案どおり承認されました。

その後の情報交換では、コロナウイルスの影響により対面開催が叶わずオンライン方式による開催となりましたが、オンラインだから参加できた・初めて参加したという声も聞くことができ、卒業生・教員共に懇親を深めることができました。

総会案内

令和3年度通常総会を11月27日(土)10時～1時間程度、オンライン方式にて予定しています。特別講演会と懇親会はございません。

参加ご希望の方は、都市環境工学科 石田裕子(ishida@civ.setsunan.ac.jp)までお申し込みください。お申し込みの方に、当日のアクセス先を後日お知らせいたします。

詳細については、以下に案内を記載いたしますので、ご参加のほど宜しくお願いいたします。

摂南大学土木会

HP: <https://www.setsudokai.jp/>

福島徹教授 最終講義のご案内

摂南大学で教鞭をとってこられました福島徹教授が2022年3月31日をもって退職されることになりました。つきましては、下記のとおり最終講義が開催されますので、ご案内申し上げます。

ご多用中のところ誠に恐れ入りますが、先生と親交の深い方々をはじめ皆様のご来臨をお待ちしております。

日時:2022年3月14日(月) 15時～16時30分

開催方法につきましては、学科HP等でお知らせいたします。

準会員(学生)向けの 特別講演会を開催しました

摂南大学土木会では、業界の将来を担ってもらうべく、1人でも多くの学生に建設業界への就職をしてもらいたいと考え、その選択において貴重な資料としてもらえるように業界の紹介を実施しています。今年は2,3年生を対象として、10月9日(土)に、ケイコン株式会社の平森充洋様(摂大H7年卒)にご講演いただきました。学生から質問が出るなどこれから始まる就職活動を意識して集中して聞き入っていました。



株式会社 新井組

2030
ARAI GUMI
CONSTRUCTION CO., LTD.

未来を築く使命を担う。
明日のソリューションプロバイダーへ
AIMING FOR THE NEXT LEVEL OF CONSTRUCTION



創立77年、建設事業を通じて社会に貢献することを誇りとしています。
〒662-8502 兵庫県西宮市池田町12番20号 TEL: 0798-26-3111 FAX: 0798-26-8281 URL: <http://www.arai-gumi.co.jp/>



鋼道路橋の補修・補強設計業務はお任せください。

正社員募集中!

インフラの再整備が進み、受注件数も増加しています。
設計者としての第一歩を踏み出してみませんか?

inai conex 株式会社
代表取締役 弓倉 啓右
長谷川 望 (平成14年3月卒業)
橋川 雅斗 (平成23年3月卒業)

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-3-10
TEL: 06-4309-6656 FAX: 06-4309-6686
<http://www.inai-conex.co.jp/>

令和3年度 摂南大学土木会役員・評議員名簿【案】

*学内連絡係／**代表幹事／***副代表幹事／※代表評議員

相談役	森 俊介(S55)	同 上	北村 幸定(S56)	奥田日出男(S46)	北村 幸定(S56)	卜部 伸一(H07)	根木 沙織(H22)
同 上	藤田 孝志(S55)	同 上	延永 稔仁(S50)	江原 光治(S47)	寺岡 國仁(S57)	水野 貴史(H08)	小笠原裕介(H23)
同 上	新井 栄作(S60)	** 同 上	中土井敬史(H7)	大畠 和夫(S47)	道山 長八(S57)	吉山 昌志(H09)	赤星 健太(H24)
役 員		同 上	中村 貴則(H10)	※ 城 幸一郎(S47)	松下 正寿(S58)	手嶋 正和(H10)	植田 友徳(H25)
会 長	新田 耕司(H2)	同 上	坂本 圭(H10)	平峯 武志(S47)	木村 寿夫(S59)	山元 一平(H11)	川島 慶一(H25)
副会長	西川 朝彦(S48)	会 計	石田 裕子	塩沢 隆(S48)	宮川 尚三(S60)	亀井 義明(H12)	川口 雄大(H26)
同 上	青木葉隆典(S62)	同 上	小川 芳也(H14)	万字 敦(S49)	岩崎 央(S61)	水島 裕幸(H12)	黒田 佳郎(H27)
常任委員	片桐 信	監 査	伊藤 譲	陰山 豊秀(S50)	※ 大野 幸一(S61)	高岡 栄二(H13)	中野 洋平(H28)
同 上	熊谷樹一郎	同 上	眞鍋 育弘(S51)	延永 稔仁(S50)	大橋 政広(S62)	福島 智行(H14)	合田 周平(H29)
同 上	熊野 知司	評議員	中野 昭雄(S39)	柴田 芳彦(S51)	高田 太(S62)	川勝 雄介(H15)	田中 達大(H30)
* 同 上	田中賢太郎(H13)		福田 富保(S40)	小西 隆夫(S52)	中野 茂(S63)	小山 裕貴(H15)	奥田 勝稀(H31)
同 上	寺本俊太郎		中谷 利昭(S42)	池谷 力(S53)	森 光正(H01)	藤澤 博規(H16)	藤家 凌我(H31)
同 上	福島 徹		古川 忠彦(S43)	藤田 謙治(S54)	秋岡 宜和(H02)	亀岡 慎也(H17)	森 敬洋(R2)
同 上	佐藤 大作		荒瀬美喜夫(S44)	坂上 敏彦(S54)	岡田 博志(H03)	中島 誉史(H18)	阪田 直樹(R2)
同 上	水野 忠雄		丸山 良夫(S44)	* 平尾 雅一(S54)	※ 佐々木 剛(H04)	藤田 雄三(H19)	杉本 雅弥(R3)
同 上	田中 昌明(S48)		上柳 清志(S45)	石橋 源三(S55)	前田 泰秀(H05)	※ 東出 唯(H20)	中原 汰朗(R3)
*** 同 上	城野 和夫(S50)		正本 実(S45)	山口 雅明(S55)	木村 隆幸(H06)	中川 佳祐(H21)	

【摂南大学土木会】令和2年度 決算書・令和3年度 予算書(案)

令和2年度 決算(案) 令和2年10月1日から令和3年9月30日

▼令和2年10月1日現在 特別積立金390万円

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
前年度繰越金	531,984	531,984	事務費等	140,000	24,969
正会員入会金(66名)	690,000	660,000	会報発行費	800,000	779,670
広告料(17社)	440,000	340,000	同窓会補助	80,000	0
預金利息	100	4	役員会・評議員会費	100,000	0
寄付金	0	139,000	総会費	100,000	0
雑収入	0	2	特別講演会(2人分)	100,000	0
			ホームページ維持管理費	132,000	132,000
			慶弔費・見舞金	70,000	10,000
			雑費	30,000	3,080
			名簿追加修正費	30,000	0
			予備費	80,084	721,271
合計金額	1,662,084	1,670,990	合計金額	1,662,084	1,670,990

令和3年度 予算(案) 令和3年10月1日から令和4年9月30日

▼令和3年9月30日現在 特別積立金390万円

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度繰越金	721,271	事務費等	140,000
正会員入会金(73名)	730,000	会報発行費	800,000
広告料(20社)	400,000	同窓会補助	80,000
預金利息	100	役員会・評議員会費	100,000
		総会費	100,000
		特別講演会(2人分)	100,000
		ホームページ維持管理費	132,000
		慶弔費・見舞金	70,000
		雑費	30,000
		名簿追加修正費	30,000
		予備費	269,371
合計金額	1,851,371	合計金額	1,851,371



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山上福田829-1
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(内)
FAX 0867-66-3674
URL: <http://www.ogcfight.co.jp>



イビデングリーンテックは、
人と自然の共生、
調和のとれた地球環境を創造する企業です。

当社は、「緑化＝グリーンビジネス」を
事業の柱として、主に「法面事業」、
「造園事業」、「建設事業」の3事業を
展開しています。

ig イビデングリーンテック株式会社

【本 社】〒503-0021 岐阜県大垣市河内町 3-55
TEL 0584-61-6111 FAX 0584-74-1971
【関西支店】〒651-0072 神戸市中央区臨海町 2-11-14
(現代神戸ビル4F)
TEL 078-291-5585 FAX 078-291-5586

<http://www.ibiden-greentec.co.jp>

研究室だより

水圏工学研究室 准教授 佐藤 大作

水圏工学研究室は2019年度より私が都市環境工学科に着任したのと同時に開設した研究室です。早くも3年目に入ったということで、私自身、時がたつのは早いなと実感しています。今年度は昨年度のコロナ禍での卒業研究を経験したことで、昨年に比べればスムーズに進んでいると感じていますが、やはりいろいろな制約のもとで研究室生活を送らなければならないということで、不自由を感じることも多いのが現状です。卒業研究は専門的な知識を深めるだけでなく、大きなものから小さなものまで課題解決を自分で考えながら取り組める良い機会ですし、そうした経験を積み重ねることで大きく成長できるチャンスです。研究活動の中でできるだけ多くの経験をしてもらえように進めたいと考えています。

当研究室は水圏工学と名前がついていますが、私自身の専門は海岸工学、環境水理学であり、南太平洋の小島嶼国での持続的な海岸保全について現地調

査や数値計算から研究を行ってきました。特にツバルという国を対象に、気候変動による海面上昇影響下での海岸侵食の問題や沿岸波浪変化の評価に取り組みとともに、淡水レンズと呼ばれる地下水の保全などにも研究を拡げています。卒業研究ではテーマを提案してもらうことも多く、これまでに津波、高潮、河川氾濫に関するテーマについて研究を実施しました。昨年度からは日本国を対象として、気候変動による海面上昇、高潮、河川氾濫による浸水影響を全国規模で評価するプロジェクトが気候変動影響予測・適応評価の総合的研究(S-18)内でスタートしました。このなかで、当研究室は日本国沿岸の海岸堤防や護岸といった海岸保全施設の現状把握と将来の海水位や高潮などの沿岸外力での必要高さの推定をGISや数値計算を用いて明らかとすることがミッションになっています。以上の様に、沿岸域を中心に、水に関わる事象を幅広く対象にして研究を進めています。

KAIKEN—街づくりの総合コンサルタント

【企業理念】

建設に係る技術力をもって社会に貢献すること



株式会社 開発計画研究所

代表取締役

井上 忍

(昭和44年3月卒業)

事務所:東京・水戸

TEL 03-5828-6855

小田卓朗(社員) 平昌オリンピック出場

・スピードスケート 1,000m 1,500m 5位

・帰山雄太 第73回国民体育大会 優勝



大阪市内より30分圏内の

緑豊かなお墓地をご案内いたします。

お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120 (305075)

(株) 太田 石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号

TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

総持寺霊園(茨木市)	服部徳風墓地(豊中市)
陰国寺墓地(吹田市)	竜の子霊園(奈良県)
海印寺墓地(長岡京市)	玉手山墓園(柏原市)
王寺霊園(奈良県)	飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
東本願寺天満別院(北区)	飯盛霊園(四條畷市)
北拱霊園(豊能郡)	その他公営墓地
真龍寺霊園(茨木市)	

コンクリートで+αの
可能性を広げる



環境を創造する
Potential of Concrete
KCON株式会社
https://www.kcon.co.jp

【本社】
〒613-0903
京都市伏見区淀本町225
プレキャストコンクリート製品
開発・設計・施工・販売・総合建設業
TEL:075-631-3231
FAX:075-631-9588

【大阪営業所】
〒534-0025
大阪市都島区片町二丁目
2番48号JEL京橋ビル2階
TEL:06-6355-0505
FAX:06-6355-0507



まちのコントラクター

荻田建設工業株式会社

取締役会長 荻田 孝太郎

ISO9001 本 社 〒660-0087

ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号

TEL (06)6419-2981(代表)

ホームページ: <http://karitakensetu.com>

三田営業所 三田市天神1丁目2-12

TEL (079)563-0095

今年度、都市環境工学科には、1年次82名、2年次66名、3年次68名、4年次73名で合計289名の学生が学んでいます。女子学生の数も年々増えており、ここ数年は各学年10人を超える女子学生が在籍しています。大学院の社会開発工学専攻における本学科出身者は、1年次7名、2年次5名です。福島徹教授が学科長として学科運営に当たり、教職員は専任10名、非常勤34名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導を行っています。

日本で2020年初頭から広がりを見せた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受け、本学科の教育・研究活動も大きく変わりました。2020年度前期は5月25日から完全オンライン授業でスタートしました。入学式も開催できず、新入生たちにとっては不安の大きい大学生活の始まりだったと思います。6月からは研究活動で4年生や大学院生が登校できるようになり、少しずつ学生の姿を学内で見るようになりましたが、いつものような活気はありませんでした。

後期授業は、感染予防対策をとりながら、オンライン授業と対面授業を組み合わせでの実施となりました。学科の専門科目である「都市環境基礎ゼミⅡ」の中で、「P-1グランプリ」というペーパーを用いて製作する橋梁模型のコンテスト形式の授業を展開しています。これにつきましても、大勢が一度に集まることを避け、全体ガイダンスや班の学生同士の打合せはオンラインで実施し、複数人数で製作していた橋梁模型を個人で製作するなど、例年とは違う形式で行いました。デザイン部門の投票やプレゼン部門の審査も、オンラインで実施しました。載荷試験を行う構造部門のコンテストについては、大教室で密を避け着席し、対面での実施となりました。この一年で、学生たちのICTツールの活用能力が大きく高

まったと実感しています。2020年度の結果は、構造部門の優勝は伊藤ゼミ、準優勝は寺本ゼミ、プレゼン部門の優勝は熊谷ゼミ、準優勝は水野ゼミ、デザイン部門の優勝は佐藤ゼミとなりました。

学科主催行事も大きく制限を受けました。例年は摂南大学土木会のご協力もいただきながら実施している現場見学会につきましても、中止を余儀なくされました。準会員向け講演会につきましても、対面・オンラインのハイブリッド方式で実施することができました。ご講演いただきました卒業生の方々に感謝申し上げます。

前年度は中止になった学位記授与式は、教室で実施することができました。卒業祝賀会はなく、学位記を渡すのみの小規模な会となりましたが、晴れ着姿の女子学生や民族衣装を着た留学生などで、いつもの教室が華やかになり、無事に卒業式が迎えられて学生たちも嬉しそうでした。摂南大学土木会による卒業研究優秀賞は、該当学生に向けて、卒業研究優秀賞建設部門1名、環境部門1名に表彰させていただきました。この紙面をお借りしてご報告とさせていただきます。令和3年3月卒業生の皆様方、新しいステージでのご活躍を期待しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



オンラインによる学長祝辞



学位記の授与



田中ゼミ

「助かる命を無駄にしない」

自然災害調査、地盤調査、各種構造物施設点検
全国各地での地盤防災についての講演
防災教育の普及と啓蒙活動

地盤を学び災害から身を守る技術を提供します

株式会社 コスモテック

代表取締役 田中 未来
取締役会長 田中 昌明 (昭和48年卒)

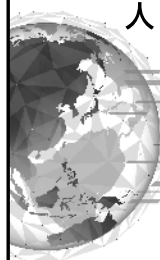
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-10-703

TEL: 06-6942-0808 FAX: 06-6942-0909

E-mail: info@cosmotec-jiban.com URL: http://www.cosmotec-jiban.com/

地盤防災 コスモテック 

情報をつなげる力で、
人・社会・地球の未来をデザインする



 国際航業

国際航業株式会社 西日本支社 関西事業所

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15

TEL: 06-6487-1111 https://www.kkc.co.jp/

続・コロナ禍の中での就職活動

都市環境工学科 准教授 佐藤 大作

前年度担当の片桐先生より引継ぎ、今年度の就職担当を拝命しました。昨年度の本コラムのタイトルが「コロナ禍の中の就職活動」でしたが、今年度も大きく変わらず、やはりコロナ禍での就職活動となりました。数年前までの就職活動とは大きく様相が異なりますが、昨年度の「急遽、コロナ対応での採用活動」と比べると、今年度は企業側もコロナ禍であることとを前提に採用活動を展開しており、昨年度に見られたような混乱はあまり感じられませんでした。

9月29日時点での内定率は86%となっており、例年と比較すると若干低い値となっています。しかしながら、建設系企業の採用意欲が低下しているという話は全く聞こえてこず、お会いするほぼすべての企業の方から人手が足りないという話を伺っているため、学生にとっては就職しやすい状況がここ数年継続していると言えます。未内定者は公務員志望、教員志望、建設分野以外での就職を希望する学生がほとんどで、継続して就職活動に取り組んでいます。現在の内定者の内訳を大まかに見てみると、建設関係50%、建築関係2%、高速道路・道路関係7%、鉄道4%、コンサルタント13%、ガス・電気2%、公務員7%、大学院進学9%、その他(他分野など)6%となっています。昨年度と比較すると建設系が多く、特にゼネコンへ就職を決めた学生が多いという印象です。大学院では4名の学生が就職活動に取り組み、建設関係2名、コンサルタント1名、高速道路関係1名と全員が希望通りの就職先に内定を頂きました。

近年では電子化された膨大な企業情報の中から自分の希望する条件とマッチする企業を探し出すという点に苦労する学生が多いように感じています。OB・OGの皆様が活躍されている企業や学科とつながりのある企業などの情報を有効に活用してもらえよう、できるだけ学生の目に届きやすい形で就職情報を共有していけたらと考えています。



高度な技術力と豊かな経験を、次世代の技術者に継承します。

TSUKURU MAMORU

鉄道・道路構造物の設計および各種土木構造物の維持管理
土木構造物の専門技術者集団

中央復建デザインプラス株式会社 Since 2017

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL 06-6160-1135 www.cfkdp.com

cfkdp 検索 DESIGN PLUS



創造力と総合力でお客様のニーズにお応えします

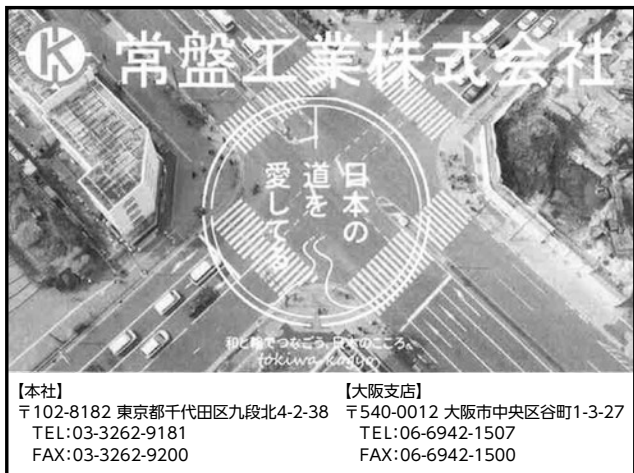
CFKは社会の様々な要請に応えるべく、健全な企業経営のもと優秀な技術者が大いに活躍できる場を確保し、技術力の研鑽とともに、人材育成や働きやすい職場環境づくりに力を注いでいます。

<http://www.cfk.co.jp/>

CFK 中央復建コンサルタンツ株式会社 Since 1946

【本社】〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL:06-6160-1121 FAX:06-6160-1127

【東京本社】〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-13
TEL:03-3511-2001 FAX:03-3511-2031



常盤工業株式会社

日本の道を愛して

和と情でつながる。tokiwa kogyo

【本社】〒102-8182 東京都千代田区九段北4-2-38
TEL:03-3262-9181 FAX:03-3262-9200

【大阪支店】〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-27
TEL:06-6942-1507 FAX:06-6942-1500



Create Value, Build the Future

私たちは今、この時の行動ひとつひとつを大切に、これからの社会に新たな価値を創造し、ステークホルダーのみならず、未来の社会に貢献し続けることを約束します。

私たちの今が、社会の未来を創る

東亜建設工業 TOA CORPORATION

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

私の近況報告

摂南大学 元教授 海老瀬 潜一

7年前に退職し、残した研究を続けています。コロナ禍のため学会はon lineで口頭発表がなく、研究仲間に出会う機会をなくし、同窓会も自粛で、現在は巣籠り状態です。摂大勤務最終年の2013年9月16日は、淀川新橋での3日毎の淀川水質調査当日でした。台風18号で近畿東部は大雨、1953年台風13号に匹敵する淀川大出水でした。1953年と比べ、瀬田川洗堰や淀川6ダムのピーク流量カット効果もあり、淀川の被害は比較的小さく済みしました。枚方大橋下流堤防では天端へ1m弱の水位になり、淀川放水路から海に出た濁水は神戸沖まで達し、大阪湾北東部海底に有機物質・栄養塩が沈積したことを、論文にしました。

屋久島渓流水質の年4回調査を18年間続けた後、降水への酸性物質影響最前線である、東シナ海・日本海側離島・高山の天草下島・福江島・対馬・隠岐

岐・佐渡島・大山・妙高山・飯豊山・朝日岳・月山・鳥海山・森吉山・岩木山などの渓流水調査をしました。さらに台湾・済州島と沖縄国頭山地・徳之島を加え、中国大陸から偏西風や北西季節風で飛来する大気汚染物質由来の酸性物質地域分布の特徴を明らかにしました。これととも、21世紀後半にカーボンニュートラル施策が遂行されると、硫酸・硝酸イオンの化石燃料由来酸性物質も激減し、昔の研究と忘れ去られることと思います。環境は時代とともに変化します。

摂土会会員の皆様には新型コロナに打ち克つてのご活躍と、摂土会の益々のご発展を願って、筆を擱きます。



調査を共にした愛車とともに

2020年4月(株)住軽日軽エンジニアリングより社名を変更しました。

美しいまちとあなたのアル未来



日軽エンジニアリング株式会社

本社 / 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL.03-5628-8510
大阪支店 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL.06-6223-3561
<http://www.sne.co.jp/>

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業
NAWAKENSETSU CO.,LTD.



奈和建設株式会社

本社 和歌山県橋本市賢堂 1114-1 TEL. 0736-32-3733 FAX. 0736-33-3217
和歌山支店 和歌山県和歌山市毛見 1508
かつらぎ営業所 和歌山県伊都郡かつらぎ町萱田東 310-1
田原本資材置場 奈良県磯城郡田原本町西竹田 108
NAWA Group
株式会社イマエシステム 和歌山県橋本市神野 40-3
一級建築士事務所 和歌山県和歌山市 和歌山県和歌山市下津町 246
株式会社 NAWA 和歌山県橋本市下津町 246
和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県
土木管理株式会社 和歌山県和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県
和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県 和歌山県

未来を見据え このまちをささえる

総合建設コンサルタント



株式会社 日本インシーク



■大阪本社
〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14
TEL.06-6282-0310 FAX.06-6282-0311
■東京本社
〒104-0033 東京都中央区新川1-23-4
TEL.03-4214-2000 FAX.03-4214-2001
■神戸支社 ■奈良支社
<https://www.insiek.co.jp>



株式会社
日照技術コンサルタント

建設コンサルタント
道路、河川・砂防及び海岸・海洋
都市計画及び地方計画
下水道、施工管理、発注者支援
測量

測量全般、鉄道測量 (JR)

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3番地の2

TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966

E-mail: nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp

<http://nissho-engineer.co.jp>

支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所

公務員を目指したきっかけと現在

向日市役所

才野 紅葉（摂大平成26年卒）

私は、平成26年3月に摂南大学を卒業し、同年4月から向日市役所で働き始め、今年で社会人8年目になりました。



私が学生の頃、「建設業界が女性の技術者を求めている」とは知っていましたが、当時の先生からお聞きしたのは、「求められていても職場の設備がまだまだ女性に对应しきれていない」ということでした。しかし、同じような環境でも、公務員であれば、男女問わず、たくさんの方が働いているので、職場の設備の心配はないということがきっかけとなり、就職に向けての勉強を本格的に始めました。

一言に「公務員」といっても、普段、市役所などに行って手続きをする窓口業務を行う人たちのほかに、窓口からは直接見えないところで仕事をしている人がたくさんいます。その中でも、土木に携わり、技術職と呼ばれる仕事に私は就いています。

現在は道路管理者として、市が管理している道路などの維持管理、工事の発注、法律や条例に基づいた許認可手続きなどを主に行っています。

維持管理とは、最も身近な公共施設である道路を誰もが安心して利用していただけるよう、不具合箇所を早期に見出し、事故を未然に防ぎ、対策を検討し、講じることであり、その責任の重さを感じるとともに、やりがいをもって日々、仕事に取り組んでおります。

損傷のある道路を補修する工事や新しい道路をつくる工事などが完成したときには、出来上がったものが見える場所に現れ、大きな達成感が感じられます。

公務員は人事異動もあり、0から勉強して数年後、ようやくわかることが増えてきた頃に仕事の内容や考え方が全く異なる部署に配属されることもあります。

しかし、これは新しい知識を身に付け、自分自身がさらに成長し、技術力向上のステップだと考えています。

大学時代に一緒に学んだ仲間や大学の先輩たちと一緒に充実した毎日を送っています。これから、摂南大学を卒業される方またはされた方と一緒に仕事をする仲間として出会えることを楽しみにしています。

建設から管理へつなぐ

独立行政法人 水資源機構

北村 美紗樹（摂大平成28年卒、摂大修士平成30年修了）

令和3年7月伊豆山土砂災害をはじめ昨今の降雨災害で被災された方に対し、心よりお見舞い申し上げます。



私は、学生時代にこのような降雨災害の減災と生態系保全について学び、平成30年3月に摂南大学大学院を修了したのち、同年4月に独立行政法人水資源機構に入構しました。当機構はダムや水路の建設から管理までを担う会社であり、私はダムの管理、特に防災業務に携わりたいと思ったことが志望動機でした。現職である豊川用水総合事業部での仕事は水路の建設事業であり、一見すると志望とは異なる仕事をしておりますが、建設事業から見据える管理の仕事について未熟ながら綴らせていただきます。

現在携わっている豊川用水の建設事業は、通水53年目を迎えた既設の開水路に対し、今後発生危険性が高まる大規模地震への対策としてパイプライン構造の併設水路を設けることにより、災害時における通水や既設水路のメンテナンスを可能とすることが目的です。また、洪水導入（降雨時にダムから調整池へ送水しダムに貯水する）や需要変動（利水者が要求する水量と実際に使用する水量の差）への対応として、圧力管の送水性が役立つことから、水路の複線化を進めています。

私が所属する調査設計課では、現在の管理状況を把握した上で未来の管理を見据えて水路設計を行う必要があるため、平常時、洪水時、地震時といったあらゆる場合を想定した水運用システムの構築も業務に含まれます。私はこの仕事に携わるまで、建設事業はハード対策のイメージがあり、「管理の未来を構築する仕事」という認識を持っていませんでした。しかし、建設事業が管理の未来を創ることができると重要な仕事だと気付いたことにより、自身が志望していた防災業務についても今後はどうあるべきか深く考えるようになりました。

冒頭のような災害が頻繁に起こりうる時代となり、経験だけでは対応できない時代です。我々は、そのような時代により良い生活を創り守る技術者として、管理につながる建設を、時代に対応する管理を、これらを継続する努力を惜しまず仕事に勤しんでまいります。

新井組で経験したこと

（株）新井組

高木 長（摂大平成31年卒）



私は、平成31年4月に（株）新井組に入社し、本年度3年目を迎えました。弊社は、兵庫県西宮市に本社を持ち、関西に基盤を置くゼネコンであり、土木工事では、河川、道路、造成、上下水道、耐震補強など幅広い分野で工事を行っています。ここからは、私が入社して経験したことについて報告させていただきます。

私は1年目から2年目にかけて国土交通省発注の耐震補強の現場に従事してきました。1年目は国道に架かる橋梁の支取替を行いました。最初は、工種や施工方法、道具など聞き覚えのない言葉で溢れていました。わからないことを図面から読み取り、上司や協力業者の方に教わりながら理解していききました。特に感じたことは、工事は1人では出来ず、協力し合って成り立っているということです。施工上で行き詰った際、協力業者の方から意見をもらうことで、より良いものを作ると同じ目標を持つていることを肌で感じ、早く私も現場を引っ張っていきけるような知識と技術を学ぶ必要性を感じました。

2年目は地震による橋桁の落橋防止対策や、鉄道近接の橋脚コンクリート巻立て、伸縮装置の取替を行いました。JRの近接工事や住宅街付近の夜間施工があったため、事故や騒音などによる苦情が考えられました。そのため、JR軌道への影響を考慮してオープン掘削からライナープレートを用いた土留工へ、伸縮装置撤去を従来工法のブレイカーによる破碎作業から、ワイヤーソーによるジョイントスライス工法に変更し、安全・環境に対し特に配慮した施工を心掛けました。周りの方に助けていただきながらも、1年目の経験を活かし、協力業者の方へ指示を出し現場を進行することができました。

現在、国土交通省発注工事において、現場代理人の役割をいただき調整池を造っています。初めての経験ばかりで、苦しくも充実した日々が続いております。経験を重ね、信頼される技術者に早くなれるよう精進していこうと思います。

井上治先生と橋本悌造先輩を偲ぶ

摂士木会第四代目会長を務められ同会名誉顧問の井上治先生が令和3年4月25日に、同第六代目会長を務められ同相談役の橋本悌造様が同年5月5日に亡くなりました。

お二方と親交の深かった大島技術コンサルタント(株)の社長大島正樹様(以下大島先輩)に在りし日のお二方についてお話をうかがいました。

井上先生は、1964年に大阪工業高等専門学校(摂南大学の前身)に赴任されました。井上先生はドが付くほど真面目な方だったそうで、学生時代勉強嫌いだっただ大島先輩との交流がなかったそうです。井上先生と大島先輩が急速に接近したのは1983年の初冬のことでした。大島先輩が関わられた岡山県旧八束村(現岡山県真庭市蒜山)の三谷川に架かる三谷川橋がきっかけでした。あろうことか竣工を目前にして三谷川橋が沈下しだしたそうです。大島先輩は、ご自身が関わったこともあり、何より地元の橋であることから原因究明と適切に対策することを決めます。当時の大島先輩の周辺には橋の沈下を解明するような技術者がいませんでした。そのため、母校の先生を頼ることにしました。川を横過する1径間の橋梁のため、河川の専門家と橋台を支持している地盤の専門家に相談することになりました。河川は水理学の上田伸三先生、地盤が土質力学の井上先生だったのです。地盤特性を調べるためすぐに採取して大阪まで送るよう井上先生から指示がありました。大島先輩は言われるがまま支持地盤を採取してその足で寝屋川まで運びます。「これは珪藻土ではないか!」と井上先生がおっしゃると、大島先輩は「け・い・そ・う・ど…?」と会話が成立しません。「珪藻土とは、藻(も)の一種の珪藻の化石からできた堆積物だよ」と井上先生の説明が始まります。日本有数の珪藻土産地である岡山県蒜山地方では珍しいことではないとのことです。しかし、橋台の支持地盤となっていることには問題があります。珪藻土は体積当たりの比重が軽く水分吸収率が高い性質があります。多量の水分を含んだ川岸にある珪藻土に橋梁の死荷重が常時載荷されることにより、水分が抜けきるまで珪藻土の体積減少が進み沈下も続くというのです。大島先輩は恐る恐る「どうすればいいでしょうか?」と尋ねます。「沈下を止めることは困難だが、沈下に伴う河川の形状変化のリスクを軽減させる方法はある」と井上先生が



三谷川橋(1984年3月竣工)

言い、上田先生とともに河川を横断する帯工(帯床)の設置と荷重を載荷させる珪藻土層の沈下促進を提案します。その甲斐あって三谷川橋の沈下は収束し、帯工だけの対策で今も現役で供用されています。

橋本相談役は、大島先輩と同級生です。学生時代の思い出は色々あったそうですが、紙面の都合上就職活動の時のエピソードに留めます。橋本相談役の年代は我が国初の高専卒業予定者で、高専がメジャーではなかったため、就職に苦労されたそうです。就職難の中、大島先輩はライト工業の就職内定を得ていましたが、鋼橋の設計から施工まで関わりたいという想いで瀧上工業にもエントリーすることにしました。するとまだ就職の内定を得ていない橋本相談役から呼び出しを受けます。橋本相談役も瀧上工業への就職を希望しているとのことで、大島先輩に瀧上工業へのエントリーを遠慮して欲しいとのことです。大島先輩はなぜ他人のために自分の将来を諦めなければならないのかと思い、橋本相談役とにらみ合います。その後、橋本相談役は念願の瀧上工業に就職することになります。橋本相談役は瀧上工業を経て建設コンサルタントの近代設計に再就職し、近代設計の大阪支社長まで務められました。大島先輩は橋本相談役に橋梁の設計から道路の地下横断工の設計など種々の土木技術に関わることを相談し、随分助けられたそうです。大島先輩は三谷川橋の一件で橋梁の設計に対して難しさを越える恐怖を覚えていました。身の程を知っている大島先輩は、ことあるごとに橋本相談役に相談し、様々な問題を解決できるようになったとのことです。

この十数年は井上先生や橋本相談役、平城先生ら十数名で構成されるFIT(フィット)研究会を蒜山にあった井上先生の別荘で開催し、幸せな人生の送り方や終い方について語り合っていたそうです。

人のおかげで今がある、蒜山の地で土木技術サービスなら大島技術コンサルタントへと言われるまでに成長できたのは井上先生や橋本相談役のおかげだと大島先輩はおっしゃっています。



FIT研究会の様子(手前中央右が井上先生、手前中央左が橋本相談役)

井上先生と橋本相談役のお二方に摂士木の発展にご尽力いただいたことあらためてお礼申し上げます。お疲れさまでした。お二人のご冥福をお祈りします。

聞き手 新田耕司(摂士木会第十代目会長)

準備室スタッフ紹介

本年5月より都市環境工学科準備室で勤務しております細川です。



細川 法子

度重なる緊急事態宣言の中、オンラインでの授業がメインとなり学生との関わりが少なくなかなかコミュニケーションをとることが難しいですが、積極的に挨拶することを心がけております。

まだまだ、わからないことばかりですが、少しでも先生方、学生のサポートができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

技術士会だより

会長 木下 幸佐 (摂大昭和57年卒)

技術士会は、平成14年2月の発足以来20年目を迎えました。摂南大学卒業生で技術士及び修習技術者(技術士補・JABEE課程修了者)の方を正会員とし、在校生で技術士第一次試験合格者を準会員として構成し、会員数も76名(内技術士52名)となりました。

技術士会では毎年総会を実施し、その折りには特別講演会を開催して技術の研鑽に勤しんでおります。また年2回の会員相互の親睦会や、在学生に対する技術士第一次試験受験セミナーの開催を行っております。

しかしながら、今年も昨年に引き続きコロナ禍により、総会を含め活動自粛を余儀なくされております。皆様方におかれましても公私にわたり活動を制限されている事と存じますが、十分に注意を払って国難を乗り切りましょう。

技術士及び修習技術者の方は是非、技術士会のHPより入会をお願いします。微力ながら母校の発展に尽力しましょう。

昨年10月以降に寄付いただいた方を今号にてご紹介いたします。

(令和3年9月現在 敬称略・順不同)

中井 敏明 (昭和45年卒)	内田 啓太 (昭和43年卒)	太田 泰州 (平成30年卒)	井上 英之 (昭和58年卒)	辻宅 明男 (昭和51年卒)	宇山 隆成 (昭和50年卒)	吉立 博一 (平成23年卒)	足尾 昭貴 (昭和58年卒)	畑永 隆宏 (平成22年卒)	安肥 隆設 (平成22年卒)	土肥 昌明 (昭和48年卒)	たなか 久明 (昭和42年卒)	田中 英夫 (昭和49年卒)	谷上 友宏 (昭和61年卒)	別所 賢浩 (昭和62年卒)	西山 正道 (昭和57年卒)	西村 誠治 (昭和47年卒)	細木 光治 (昭和46年卒)	江原 日出男 (平成4年卒)	奥田 博 (昭和54年卒)	池藤 高喜 (昭和44年卒)	西川 美夫 (昭和47年卒)	荒瀬 良敏 (昭和47年卒)	目田 照久 (昭和56年卒)	原田 和道 (昭和42年卒)	岡正 樹 (昭和42年卒)	大島 正樹 (昭和42年卒)
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	----------------

訃 報

奥西 三博 様(昭和42年卒) (平成21年4月 逝去)

下山 恵一 様(昭和44年卒) (平成31年3月 逝去)

山本 展孝 様(昭和42年卒) (平成31年2月27日 逝去)

大宅 泰司 様(昭和62年卒) (令和2年3月31日 逝去)

遠藤 司郎 様(昭和44年卒) (平成30年 逝去)

謹んでご冥福をお祈りします。

HC 21世紀をグローバルに拓く
株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・ 建設コンサルタント業 第8662号
- ・ 地質調査業 第1760号
- ・ 測量業 第14744号
- ・ 土壌汚染指定調査機関 環 2003-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦 9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 新谷町第三 314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

広告掲載募集中!

摂南大学土木会事務局

E-mail: ishida@civ.setsunan.ac.jp

HP: <https://www.setsudokai.jp/>



テーマ:今、頑張っていること

大学生活の中で、私達はこんなことを考えています!

成長するために

2年生 池田 陽彦



僕は今、都市環境総合コースでの専門科目の勉強と教職課程の勉強の二つを主軸に置き、大学での学修に励んでいます。予てから教師になる事を夢見ていましたが、専門知識を学んでいく中で技術職にも大きな魅力を感じるようになりました。そのため、将来の幅を広げるべく、どちらも妥協せず不断の努力を重ねています。もちろん簡単なことではありませんが、壁にぶつかるとは成長するチャンスだと捉え、諦めずに取り組んでいます。

このように学修意欲を高く持っているのは、丁寧な御指導・御声掛けを下され、背中を押してくださる先生方のおかげです。また、テレビをつけば東京オリンピックで堂々と活躍する自分と同世代の選手たちの姿を目にします。その姿にも勇気を貰い、舞台は違えど「今の自分に出来ることを全うする」ことを改めて念頭に置き、今後も精進していきます。

新生活様式での発見

1年生 入船 遥



新型コロナウイルスの影響で日常生活のあらゆる場面に於いて、変化がありました。

その結果自宅を過ごす時間が増え運動不足に悩まされましたが、入学と同時にウォーキングを始めました。

夕刻の人が少ない時間帯で比較的、運動しやすい気候の中、毎日小一時間実施しています。運動するとストレスも解消されご飯が美味しいです。毎日ウォーキングをして5ヶ月がたち、その中で色々な発見がありました。公園のリニューアルで緑地化やマンション入り口でのスロープの設置、戸建て住宅の宅配BOXの設置など意識を傾ければ様々な変化に気づきました。変化があるということは、必ず理由があると思います。今後、梅田のまちびらきや私が住んでいる地域でも開発が進められていきます。新築のオフィスビルなどはコロナ対策によりエレベーターの非接触や換気が充実されたものもあります。小さな発見から大きな発見に繋げ新生活様式の中でも好奇心を忘れず楽しみたいと思います。新生活やニーズにあった都市開発に応えられるよう日々の変化を敏感に反応し授業と結び付け、社会に出てこれからの未来の生活に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

活躍できる人材になるために

4年生 森本 裕真



私が現在、頑張っていることは2つあります。1つ目はゼミでの研究活動です。研究活動ではプログラミングを使用し、AIに空き家の画像を学ばせ、「空き家」か「空き家ではない」という判断を自動的にしてもらうという研究をしています。プログラミングを使用するのは初めてであり、うまくいかないことが多いですが、少しずつ着実に進んでおり、自分の成長につながっていると感じています。また、私は摂南大学大学院の修士課程に進学します。現在学んでいる研究を大学院に進学しても継続する予定なので、さらに力をつけなければならぬと考えています。大学院では課題を自分で見つけて解決することで、自分の成長に繋がると考えています。ここで結果を出すことで自分の成長に繋がると、企業に就職した際に今の頑張りが必ず役に立つと思います。

2つ目は英語の勉強です。私は海外旅行が好きで1年に1度は行っていました。しかし、コロナの影響で行けず、落ち着いたら行きたいと考えています。その際に、現地の人と交流をできるように英語力を鍛えています。現在の目標はTOEICで良い点数を取るように勉強しており、単語や文法の重要な箇所からもう一度学び直しています。このような経験を活かして社会に貢献できるような人間になりたいと思います。

今の私がすべきこと

3年生 福本 莉央



この数年、自然災害による被害を伝えるニュースを目にすることが多くなりました。調べてみると、近年、1時間の降水量が50mmを超える非常に激しい雨の回数が、約40年前と比べると約1.4倍に増加しており、今後もさらに増加すると予測されています。

今までの対策では、将来安心して暮らせることが出来ないのではないかと不安さを感じます。

そこで、未来の子供たちが安心して暮らせるようなまちづくりには、街の個性を生かした災害対策と地域住民とのコミュニケーションが中心になってくるとは思っています。大学で学んだことをベースに、常に主体的に、自分なら街の個性を生かしてどのような街を作るのかを考えるようにしています。例えば、私が所属しているエコシビル部の活動の中心である寝屋川市は、淀川が横を流れ街の半分が洪水危険地帯となっていますが、地下河川や、土のうステーションの設置で防災に備えています。また部活で特に感じるのが地域住民や企業が環境問題に協力的なこと。これこそが街の財産であり、人のネットワークを防災につなげていくための仕組みが必要と思っています。日々、私がイメージする安全安心なまちづくりを構想中です。

編集後記

このページは私たち大学院1回生が企画・制作したものです。ここでは、先生方やOB・OGの方だけでなく、学生、受験生、そして皆様のご家族様にも、学部生がどのように大学生活に取り組んでいるかがわかるような会報誌にしたいと考え、学生自身の考えや意見を掲載しています。現在、本学科には289名の学生が在籍しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令などによって、例年のような大学生活が送れない状態が続きました。その影響もあり、学生の考え方が変わってきているのを感じます。そこで今年度は、このような状況が続くなか、学部生が将来に向けてどのような行動を起こしているのか、大学生活で何を目的として取り組んでいくのかを、皆様に知ってもらうために、今年のテーマを「今、頑張っていること」としました。コロナ禍で生活が急激に変化していく中でも、その変化に上手に対応していると感じました。最後に、このページを作成するにあたって、協力してくださった、教員方やアンケートに答えてくださった学部生の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



編集委員

後列 杉本 雅弥、中原 汰朗、辻川 義知、鈴木 和也
前列 森本 好太、金子 渉平、塚本 真太郎